

貯法	遮光、室温
承認指令番号	2動薬第508号
販売開始	2018年3月

動物用医薬品

マレック溶解用液-IZO

【本質の説明又は製造方法】

この溶解用液は、下記の成分及び分量に示したように溶液を作製し、フィルターで濾過後ポリプロピレン製ボトル又はポリプロピレン製バッグに一連の無菌充填操作で分注・封栓し、バッグ製品については湿熱滅菌したものである。溶解用液は赤色透明の液体で、異物及び異臭を認めない。

【成分及び分量】

1ボトル(200mL)中

成分		分量
安定剤	トリプトース・ホスフェイト・プロス	2.0g
安定剤	ブドウ糖一水和物	0.22g
着色剤	フェノールレッド	0.002g
pH調整剤	水酸化ナトリウム	適量
溶剤	リン酸緩衝食塩液	適量

反すう動物由来物質

トリプトース・ホスフェイト・プロス(動物の種類;牛 使用部位;乳)

【効能又は効果】

ワクチノーバ株式会社製のマレック病凍結生ワクチン「2価MD生ワクチン(HVT+SB-1)」、「マレック病生ワクチン」、「MD生ワクチン(2H)」、「MD生ワクチン(R6)」、「2価MD生ワクチン(H+S)2000」、「MD生ワクチン(CVI)」、「2価MD生ワクチン(H+S)」、「2価MD生ワクチン(H+C)」、「MD生ワクチン(HVT)」、「イノボ鶏痘/2価MD生ワクチン(H+S)」、「バックスオンMD(CVI)」、「バックスオンMD(HVT+CVI)-N」、「バックスオンIBD-CA」又は「バックスオンPox/MD/IBD」の溶解用液として使用する。

【用法及び用量】

ワクチノーバ株式会社製のマレック病凍結生ワクチン「2価MD生ワクチン(HVT+SB-1)」、「マレック病生ワクチン」、「MD生ワクチン(2H)」、「MD生ワクチン(R6)」、「2価MD生ワクチン(H+S)2000」、「MD生ワクチン(CVI)」、「2価MD生ワクチン(H+S)」、「2価MD生ワクチン(H+C)」、「MD生ワクチン(HVT)」、「イノボ鶏痘/2価MD生ワクチン(H+S)」、「バックスオンMD(CVI)」、「バ

クスオンMD(CVI)-N)」、「バックスオンMD(HVT+CVI)-N)」、「バックスオンIBD-CA」又は「バックスオンPox/MD/IBD」を素早く融解後、頸部皮下接種にあつては本溶解用液中に1羽当たり0.2mL、発育鶏卵内接種にあつては本溶解用液中に1個当たり0.05mLとなるように溶解する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は獣医師の適正な指導の下で使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。

(使用者に対する注意)

- ・本溶解用液は「効能又は効果」及び「用法及び用量」欄に定められたワクチノーバ株式会社製の各凍結生ワクチンの溶解用液として使用するが、ワクチンの成分と特徴はワクチンに添付の添付文書を参照のこと。
- ・作業時には防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。
- ・作業後は石けん等で手をよく洗うこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。
- ・使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・溶解用液の容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取り扱うこと。
- ・使い残りの溶解用液及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・ワクチンの溶解は使用直前に行うこと。
- ・誤って眼、鼻、口等に入った場合は直ちに洗浄水で洗い流すこと。
- ・誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。また、注射された者は必要であれば本文書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。
- ・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切る場合があるので、手袋を着用するなど十分注意すること。

(取扱い上の注意)

- ・開封後は一度に使いきり、雑菌混入や効力低下の恐れが

あるので、再保存や再使用はしないこと。

- ・ワクチン調整時に、注射針によりボトル又はバッグを破ることのないように注意すること。
- ・その他接種上等の注意は、ワクチンに添付の添付文書を参照のこと。

【包装】

ポリプロピレン製ボトル入り	200mL
	400mL
	800mL
ポリプロピレン製バッグ入り	200mL
	400mL
	800mL
	1200mL

【製品情報等お問い合わせ先】

ワクチノーバ株式会社
ワクチン相談窓口
〒105-0013
東京都港区浜松町一丁目24番8号
Tel:03-6895-3710 Fax:03-6895-3711

製造販売元

 ワクチノーバ株式会社
va  **inova** 東京都港区浜松町一丁目24番8号

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報等お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakuto/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

(以下余白)